

# 藤医会

藤医会会報

藤田医科大学医学部同窓会

2024年1月発行 年2回発行



学園全景360度航空写真

## 藤医会・・・

本学医学部卒業生（正会員）と大学院医学研究科卒業生（大学院卒業会員）ならびに在学学生（学生会員）により運営されている同窓会組織です。1978年に第一回目の医学部卒業生の誕生と同時に設立されました。設立の目的は「会員相互の親睦と交流を図り、母校の発展と医学・医療の振興に貢献すること」にあります。おもな活動には会誌の発行、会員名簿の作成、教育・学術講演会の企画、懇親会の開催などがあり、会員間の情報交換の促進をはかり、親睦を深めることに寄与しています。そのほか、在学学生の学習環境の整備と課外活動の充実を目的とした援助をおこなっております。今後も、会員サービス、後進の支援、母校への協力を三本の柱として活動していく予定です。

## 目次

|                           |     |
|---------------------------|-----|
| 藤田医科大学東京先端医療研究センターのご紹介    | P2  |
| 第30回全国私立医科大学同窓会連絡会        | P4  |
| 西部会参加及び福岡県支部会幹事会のご報告      |     |
| ホームカミングデー2023 開催のご報告      | P6  |
| 支部会だより                    | P9  |
| 第31回全国私立医科大学同窓会連絡会全国会     | P10 |
| 参加報告                      |     |
| 第35回なみの会からのお知らせ           | P12 |
| 第16回日本保健医療福祉連携教育学会（JAIPE） | P13 |
| 学術集会の開催報告                 |     |
| 信長奮闘記                     | P14 |
| 藤医会からのご案内                 | P15 |



## 藤田医科大学 東京先端医療研究センターのご紹介

学校法人藤田学園 理事長

星長 清隆

藤田医科大学医学部及び医学研究科同窓会の皆さまには日頃より本学の運営に多大なるご支援をいただき心より感謝申し上げます。理事長の星長清隆でございます。私が平成30年10月に理事長を拝命してから5年が経過しました。この間、本学は大きく変わりました。まず、同年10月の大学創設50周年記念に合わせて、大学名を藤田保健衛生大学から藤田医科大学に変更しました。これには同窓生の方々より様々なご意見を賜りましたが、多くの先生方より校名を変更して良かったとのことをご意見を頂いております。施設面での大きな変化としては、令和2年4月に岡崎医療センターを開院しました。開院直前の新型コロナウイルス感染者の受け入れに際しては、職員の大変勇気のある献身的活動に対して全国から賞賛のお言葉をいただきました。また、令和4年5月には大学病院に新たな利便施設としてフジモールを併設し、令和5年8月には、ばんだね病院に新A棟を新築し、手術室、血液透析室、外来診察室などの増設を行いました。さらに10月には東京の羽田空港に隣接する、藤田医科大学東京先端医療研究センター(Fujita Medical Innovation Center Tokyo; FMIC Tokyo)を開設いたしました。ここでは新たに日本の玄関口と言われる羽田に新設したFMIC Tokyoについて紹介をさせていただきます。

### 藤田医科大学東京先端医療研究センター 開設の経緯

本学におけるこの施設の構想は新型コロナウイルス感染症の第1波が収まったばかりの令和2年夏ごろから始まりました。国土交通省のプロジェクトである羽田イノベーションシティ計画の最終段階として、地上11階、地下1階の建築物のうち、地下1階から地上4階までの約9,000㎡を医療施設として計画が進められており、その上階の5階から11階をJR東日本が運営するホテルとしての準備が進められており、既に大まかな設計図は出来ている状態でした。しかしながら4年前から進出準備を進めていた東京都内の某私立大学が急遽、撤退を決められ、新型コロナウイルスの影響もあり、関東のどこの医科大学も手を挙げなかったため、東京から遠く離れた本学に進出の要請が有ったようです。本学は数年前より国際医療センターを立ち上げ、海外からのインバウンド患者をわが国で最多数受け入れており、またロボット支援手術等の様々な先進的医療も行っていたため、羽田で最先端の医療を展開するには適しているとの判断が有ったと伺っております。

本学がこの事業を受けるに当たり、既に進められていた計画を完全に見直し、病棟は置かず出来る限り少ない職員数で、最新の日本製医療機器のみを配備する事とし、キヤノンや富士フイルムなど日本有数の大企業の協力を得て、最先端の健診や先進医療などを中心に自由診療を行うと施設とするこ

とを基本方針としました。ただ、当時の内閣の方針もあり、不妊医療だけは一部保険診療とすることを決めました。また、先進医療としての再生医療やゲノム診療のみならず、活動長寿として高齢者に対しての食事指導や運動、睡眠指導などの科学的生活支援も今後わが国で展開すべき領域として取り入れる方針としました。本学の羽田への進出決定から施設の竣工予定日まで3年ほどしか準備期間が有りませんでした。準備室職員は大変な苦労を重ねながらも、本年9月30日には菅義偉前内閣総理大臣や萩生田光一自由民主党政務調査会長、キヤノン株式会社 御手洗富士夫代表取締役会長兼社長らをご来賓にお迎えして、開所記念式典ならびに内覧会を盛会に行い、10月2日に無事にオープンすることが出来た次第です。

### 藤田医科大学 東京先端医療研究センターの概要

本センターでは、キヤノン製立位CTや富士フイルム製AI内視鏡など日本が誇る最新医療機器を駆使した精密健診や、ロート製薬や慶応大学との共同研究講座が支援する再生医療、本学が得意とする癌遺伝子診断、日本精工が開発した全自動マニピュレーターロボットを用いた人工授精、活動長寿をめざした科学的根拠に基づく食事療法や先進的リハビリなど数々の先進的医療を、航空機などで羽田空港に直接来られる海外や日本の方々に提供させていただきたいと考えております。また、本センターは羽田空港に乗り入れている東京モノレールと京浜急行が交差する天空橋駅の地下駅の直上に位置しており、駅のホームからエスカレーターで上がればすぐに入りに着きますので、羽田空港のみならず東京都心(品川、浜松町)からもとても便利で、名古屋からだと新幹線の品川駅乗り換え、2時間超で来ることが出来ます。また、リニアが完成すれば名古屋-品川間は40分程度と聞いておりますので、名古屋からは1時間程度でご来院頂けると思います。ご興味がある藤医会の先生方は大歓迎ですので、是非お立ち寄り頂きたく存じます。

世間では藤田がいろいろ東京に進出したとの穿った声もありますが、私たちはこれまでの藤田学園の方針どおり、「患者さんの立場に立った最良の医療」を、日本人、外国人にかかわらず、誠心誠意提供していく所存です。

「我ら弱き人々への無限の同情心持て、片時も自己に驕ることなく医を行わん」

藤田啓介総長のこの精神はずっと私たちの体に沁み込んでおります。どうぞご安心下さい。

皆様方におかれましては、今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。また、皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈り致しております。



藤田医科大学東京 先端医療研究センター・藤田医科大学 羽田クリニック・FUJITA EXECUTIVE CLUB 羽田



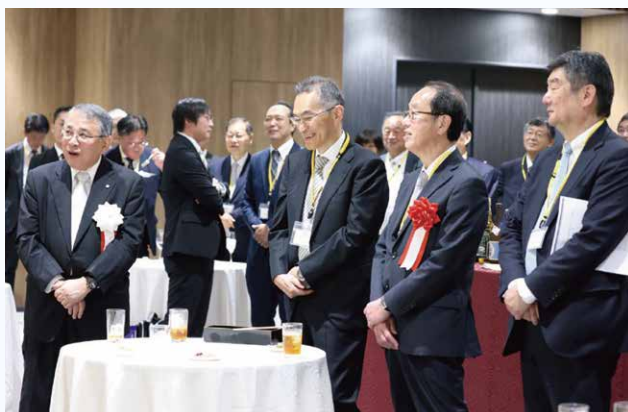
1階 通路



1階 リハビリテーションフロア



3階 精密検診センター個室



1階 メインエントランス



## 第30回全国私立医科大学同窓会連絡会 西部会参加及び福岡県支部会幹事会 のご報告

藤医会 会長  
**黒田 誠** (1回生)

第30回全国私立医科大学同窓会連絡会西部会へ参加をして、同日に福岡県支部会幹事会を開催いたしましたのでご報告いたします。

新型コロナウイルス感染の影響で3年間延期されていたこの会が4年ぶりに開催されました。

令和5年9月9日土曜日にホテルオークラ福岡で、当番校は久留米大学医学部同窓会が担当されました。この会は、東から、金沢医科大学北辰同窓会、愛知医科大学同窓会愛橋会、藤田医科大学医学部同窓会藤医会、大阪医科薬科大学同窓会仁泉会、関西医科大学医学部同窓会、近畿大学医学部同窓会、兵庫医科大学同窓会、川崎医科大学同窓会、産業医科大学医学部同窓会、福岡大学医学部同窓会、久留米大学医学部同窓会の11同窓会が久しぶりに対面で会合を開くことができました。

藤医会からは、会長の黒田 誠、副会長の根木浩路先生、篠崎仁史先生、代表理事の松山裕宇先生、福岡県支部長の梅谷博史先生、副支部長の瀬戸裕司先生、幹事の柳瀬 晃先生の7名が参加いたしました。

尚、この3年の間に久留米大学医学部同窓会の会長は松本英則先生から前日本医師会長の横倉義武先生に交代されています。

会議は、久留米大学医学部同窓会副会長の杉 健三先生の司会進行で開始されました。当番校の横倉先生がご挨拶をされ、杉先生から出席者が紹介されました。その後、特別講演としてフジテレビジョン取締役ニュース総局報道解説委員長反町 理様による「昨今の政治情勢について」がなされました。現在BSテレビでおなじみの演者のかなりきわどいエ

ピソードを交えての分かりやすいお話をされ、大変興味深く拝聴しました。その後、次回当番校として私が挨拶をいたしました。閉会の辞は副会長の田山栄基先生が述べられ、最後に記念写真を撮影して終了いたしました。

次に、部屋を移動して懇親会が開催されました。司会進行は総務委員長の山木宏一先生が務められました。開会の挨拶を久留米大学学長の内村直尚先生がされ、乾杯は福岡県医師会長の蓮澤浩明先生が音頭を取られました。ちなみに瀬戸裕司先生は、福岡県医師会の専務理事をお務めです。祝宴に入り、フランス料理のフルコースをいただきながら久しぶりの歓談に花が咲きました。当日は、久留米大学医学部同窓会常務理事の田中二三郎先生のご令嬢の田中葉緒子様のピアノ演奏が花を添えてくれました。彼女は桐朋学園大学ピアノ科をご卒業され、様々な演奏会で演奏をするのみならず、国際的に活躍をされているジャズピアニストで心地よい演奏を楽しむことができました。

閉会の挨拶を久留米大学医学部長の石竹達也先生がされて和やかな会が終了いたしました。3年ぶりの対面の会に参加して、次回当番校として身が引き締まる思いでございました。西部会終了後に、支部会の一環として、臨時の福岡支部幹事会を開催いたしました。来年の福岡支部会の展望を話し合いながら、現在の母校の発展を誇りに思いつつ、打ち解けた雰囲気の中で同窓生の会話が弾み、盛り上がった幹事会を開催できたことを大変うれしく思いました。来年は福岡県支部会をはじめとし、可能な限りの支部訪問を復活させていきたいと思えます。

来年の西部会の当番校にあたり会員の皆様のご理解をいただけたら幸甚に存じ上げます。



黒田会長より次回西部会当番校挨拶



各同窓会自己紹介タイム：梅谷福岡県支部会長より挨拶



各同窓会自己紹介 梅谷先生挨拶



会議部門での各同窓会紹介黒田・梅谷・瀬戸・根木・松山・柳瀬・篠崎



反町氏 講演会



横倉会長 挨拶



受付にて横倉久留米大学医学部同窓会会長・  
前日本医師会長と歓談する黒田・瀬戸先生



## 次回西部会

当番校：藤医会（会長：黒田 誠）

令和6年9月7日(土) 午後5時～

場 所 名古屋観光ホテル

会 議 同窓会活動アンケートおよび各校との同窓会活動の現状を議論予定

懇 親 会 各校挨拶時間を十分確保して開催予定

参加依頼予定 藤医会理事 藤医会代議員  
全国支部長 支部幹事の皆様へ出席依頼予定です

是非、ご出席の準備をお願い致します

# ホームカミングデー2023 開催のご報告

藤田学園同窓会会長 松山裕宇 (6回生)

卒業生の皆様におかれましては、ご多忙な日々をお過ごしのことと拝察いたします。

さて、新型コロナウイルス感染症の5類引き下げ以降も、臨床の現場は今尚、新型コロナウイルス感染にインフルエンザ流行、ワクチン接種と混乱の波が過ぎ去ったとはとても言えない状況ではある一方、藤田学園はダイヤモンドプリンセス号乗員乗客受入れ以降、豊明校地、ばんだね病院、七栗

記念病院、岡崎医療センター、東京先端医療研究センター開設など輝かしい発展を続けております。

そうした発展を皆様にもご紹介させて頂こうと、今年は、フジタEXPO2023に合わせて、10月28日に「卒業生への学園見学」の機会を設け、そして4年ぶりにホテルグランコート名古屋 7階ザ・グランコートにおきまして、2023 藤田学園ホームカミングデー懇親会を開催いたしました。

## ホームカミングデー開催内容

開催日 2023年10月28日(土)

### ホームカミングデー学内見学

- 11:30～15:00 新しくなった藤田学園学内を自由に見学
- 同日フジタEXPO2023  
(学園祭、模擬店、市民公開講座、学園自由散策など)
- 受付時間 11:30～13:00
- 受付場所 フジタホール500 (大学1号館5F) に設置

### ホームカミングデー懇親会

- 時間 18:00～20:00
- 会場 ANAクラウンプラザホテル  
グランコート名古屋 7階  
「ザ・グランコート」

学園からは、湯澤由紀夫学長、小野雄一郎学園長、齋藤邦明医療科学部長、堀江裕保健衛生学部長、堀口明彦ばんだね病院長、園田茂七栗記念病院長、鈴木克侍岡崎医療センター病院長方のご出席を頂きました。そして、卒業生の皆様には、251名(看専 7名、専学13名、短大 49名、検査学科合計 103名、看護学科合計 17名、放射線学科合計 8名、リハ学科合計 4名、衛生・医療・保健合計 132名、医学部 50名)のご参加を頂きました。

学内見学をされた方からは、藤田医科大学キャンパスの変貌に驚かれ、大変喜んで見学された印象をお聞きすることができました。お忙しい中、学園見学ご参加ありがとうございました。

また、会の開催にご尽力頂いた藤田学園関係者の方々にも、この場をお借りして心より御礼申し上げます。今回は久しぶりの開催であったため、できるだけご参加頂く皆様に懇親を深めるお時間をたっぷりとれるよう、ご挨拶や卒後周年記念者表彰、私ども同窓会の挨拶を

極力簡易化いたしました。会の進行に際しては、久しぶりの開催ということもあり不手際があったと存じますが、何卒お許しください。

また、例年、医学部だけで開催しておりましたクリスタルルームにおけます藤医会二次会は、会場の都合もありますが、感染予防も踏まえて開催を控えさせて頂きました。今回、大変嬉しいことに、私と同期の医学部6回生(1983年卒)が卒後40周年記念にあたり、10名以上が集合し、壇上で記念撮影もすることができました。一方、16回生(1993年卒)の先生方におかれましては、私の広報不足から十分なおもてなしができず、集合写真も取れませんでした。申し訳ありません。次回のホームカミングデーでは、お集まりの方で写真撮影をさせていただきます。

次回は、今年よりもっと多数の皆様の参加ができるように、アナウンスをさらに積極的におこない、より熟成したホームカミングデーにして参ります。

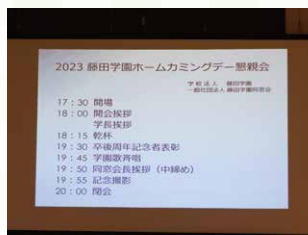
引き続きお力添えよろしくお願い申し上げます。



HCD恒例の集合写真



卒後40年表彰対象学年 6回生





次回ホームカミングデーは令和6年10月26日(土)です

## 集え！ ホームカミングデー

卒業生で大学をもり立てましょう!!

卒後周年記念者表彰は、1984年卒（7回生）、1994年卒（17回生）の皆様になります。奮ってご参加下さい。そして、来年は、藤医会二次会もクリスタルルームで開催させて頂く予定です。

二次会の開始時間は午後9時開始と少し遅めになりますが、是非、懇親会、二次会両方の会にご出席頂きますようお願い致します。



# 支部会だより

## 大阪支部

### 支部会訪問2023

2023年7月22日(土)、盛夏の大阪で4年ぶり開催の大阪支部会に参加させていただきました。例年ホテル宴会場が今回は雰囲気の良い高級(?)レストランで心機一転、地元の参加者が集まるたびに「久しぶり!」と喜びの声を掛け合っていました。

支部会長梅村春彦先生のご挨拶に続き、黒田誠先生の乾杯発声で開宴、久々の会話と豪華な料理を堪能しました。会話の中で「若い卒業生が集

まりかけていた矢先に、暫く中段してまたリセットしてしまった。」と、若手の参加が少ないことを心配されていました。今後も支部会開催を継続すべく、まずは連絡手段の確認(大阪支部は往復はがきとLINE連絡)を熱心に行っていました。「さすが大阪!」と感じられる満面の笑みで集合写真を終え、無事閉宴しました。

(執行部参加:黒田、篠崎)



満面の笑みの集合写真



一人前300グラム!の極厚ローストビーフ

## 東名古屋支部

日時:令和5年9月9日(土)

場所:TKP名古屋栄  
カンファレンスセンター

### ●特別講演

「心不全パンデミック時代に必要な  
包括的治療の知識

～腎性貧血と心不全を考察する～」

後藤 礼司先生

(愛知医科大学医学部 循環器内科講師)

藤医会東名古屋支部会が9月9日(土)にTKP名古屋栄カンファレンスセンターに於いて講演会を開催されました。参加者は藤医会から私、支部会から早川 真人支部長(日進胃腸科外科)ほかで、総勢12名が参加しました。

特別講演の演者として後藤礼司先生(本学医学部30回生)を招聘しました。心不全と腎性貧血についての最新の治療からアドバンス・ケア・プランニング(ACP)を含むお話を賜りました。座長の祖父江 良先生(祖父江クリニック)から血液内科医のお立場からコメントされました。後藤先生は母校での学生時代の恩師の話もされて、場がとても和みました。

(藤医会副会長 大槻 眞嗣)

# 第31回 全国私立医科大学 同窓会連絡会全国会 参加報告

藤田学園同窓会会長・藤医会理事  
松山 裕宇(6回生)



開催日 2023年11月25日(土) 午後5時～

会場 東京帝国ホテル光の間(総会・講演会) 孔雀西の間(懇親会)

参加校 愛知医科大学(愛橘会)・岩手医科大学(圭陵会)・大阪医科薬科大学(仁泉会)・  
金沢医科大学(北辰同窓会)・川崎医科大学・関西医科大学・北里大学医学部・杏林大学医学部・  
近畿大学医学部・久留米大学医学部・慶応義塾大学医学部(三四会)・埼玉医科大学医学部・  
産業医科大学医学部(龍ヶ池会)・自治医科大学医学部(医燈会)・昭和大学医学部・  
聖マリアンナ医科大学(聖医会)・帝京大学医学部・東京医科大学医学部・東京慈恵会医科大学・  
東京女子医科大学(至誠会)・東邦大学医学部・日本医科大学・日本大学・兵庫医科大学(緑樹会)・  
福岡大学医学部(烏帽子会)・藤田医科大学(藤医会)・獨協医科大学医学部  
以上29校から125名の出席あり

- 藤医会からの出席                      ・黒田 誠 ・根木浩路 ・松山裕宇 ・篠崎仁史
- 藤医会東京支部からの出席   ・平野 功 ・三島淳二   以上5名が参加。

全国会も西部会と同様、4年ぶりに開催されました。

今回、獨協大学医学部同窓会が主幹校となり、会場は歴史ある帝国ホテルで開催されました。千

木良真保同窓会会長の主幹校挨拶に始まり、「2024年からの医療体制」と題して、学校法人獨協学園理事長 公益社団法人日本医師会 副会長 猪口雄二先生の講演が行われました。



会議風景



懇親会 寺野名誉理事長挨拶

演題は、来年からの医療体制の変革点について、まずは、在宅中心の医療を充実させていくための医療構築を再編しなければいけないこと、次に、保険点数改正について、現在地域包括の点数利用が少ないことが特徴で、来年度からの外来管理加算の是非をめぐっての検討がなされていること、などの内容が紹介され、最後に新型コロナ終息に向けての医療従事者へのねぎらいとして作成された航空自衛隊ブルーインパルスビデオが放映されました。

続いて、獨協医大常任理事：山岸秀嗣先生から、同窓会の現状に関するアンケート結果が公表され、全国私立医科大学同窓会の中で、1) 25%が任意団体、74.1%が一般社団法人であること、2) 評議員数は25名以上、3) 事務局は2名の所属が40%、4) 同窓会支部は各県に1支部、5) 名簿発行は77.8%、冊子が90%、毎年発行は14.3%、2-3年が42.9%などの結果が報告されました。会費の納入率、同窓会事業内容などについての議論の後、最後に、来年の当番校：北里大学医学部同窓会、永岡隆 会長から11月30日箱根河鹿荘において開催される旨、報告されました。

その後は、孔雀の間にて懇親会に移行、学校法人獨協学園 名誉理事長 寺野彰先生の挨拶の後、創立30周年時に作曲されたという獨協医科大学校歌「獨協医大の歌」が、国立音楽大学声楽専修メンバー4名の合唱で披露され、美しく包まれるような優しい歌声、心和む歌詞に癒やされながら、各テーブルでの会話が始まりました。途中から、各同窓会の紹介タイムになりましたが、久しぶりの会であるためか、各校のプレゼンテーションが山盛りで、紹介制限時間はほぼなくなり、懇親会は30分以上の延長となるほど盛んなプレゼンになりました。貴重な経験談も拝聴でき、素敵な懇親会でありました。藤医会は、参加した黒田・平野・根木・松山・篠崎・三島の5名が壇上に上がり、黒田会長からメンバーの紹介と同窓会人事改革や若手勧誘の難しさについて提案がなされました。

懇親会終了後は、東京支部幹事会に移行し、来年度以降の支部会について議論し、全国会・東京支部幹事会を無事終了しました。



黒田会長による藤医会紹介



左側より、根木・平野・黒田・松山・篠崎・三島  
この後東京支部幹事会に移行しました

# 第 35 回 なみの会 からのお知らせ

藤医会の皆さんは「なみの会」？と思われるでしょう。1973年に入学した私達の同窓会名です。そして写真にあるのは今年の会で決まったシンボルマークです。

# 73

なみの会シンボルマーク

卒業後、それぞれの仕事も落ち着いた1982年（昭和62年）芦原温泉において第1回目の同窓会が開かれ「なみの会」と命名され、途中コロナで中止の2年間以外は毎年、宴会と名簿を作ってきました。そして出会いから50周年に当たる今年は名鉄グランドホテルにおいて50周年記念晩餐会と翌日は犬山観光とゴルフを開催しました。LINE参加者も含め34名が出席した第35回「なみの会」を報告します。

10月7日ホテルのレストランを貸切り19時開始にもかかわらず、約1時間前から集まり始めました。あまりの風貌の変化から声を聴いてだれとわ

坂野 哲哉（2回生）

かる人もいましたが、50年経てほぼ一目で誰と認識できるのはすごいと思いました。スクリーンに学生時代や過去のなみの会の写真をスライドショーで流し、学生時代1番の遅刻者O君が最後に登場した時、彼は満場の拍手喝采で迎えられました。全員の集合を確認して19時に16名の物故者への黙とうを捧げ始まりました。開催にあたり、幹事の私が111名の案内に対し初め10名足らずの参加希望者が今日、30名を超えたことに感謝を述べた後、突然サプライズが起きました。なみの会の幹事を続けてきた私に8人の有志が80名近い人から賛助金を集め、私に感謝状と記念品贈呈がされたのです。そして彼らが手分けして参加を呼びかけ今日が迎えられたことを知りました。このグループは後日LINE「なみの会永久幹事坂野君お助け隊」と命名されました。一人一人の近況報告や直前にコロナ感染で欠席した人も鹿児島からZOOMで参加し皆と会話するなど2時間半の時間が瞬く間に過ぎ会を終了しました。これからも「なみの会」は会員が一人になるまで継続したいと思います。



# 第16回 日本保健医療福祉連携教育学会 (JAIPE) 学術集会の開催報告

藤田医科大学医学部 臨床総合医学 大槻 眞嗣 (11回生)

私は2017年からアセンブリ教育センター長として、本学の全学生を対象としたアセンブリ教育を多職種連携教育として位置付けた改革に取り組んできました。この度、学術集会長を拝命し2023年11月26日(日)、藤田医科大学でJAIPEの学術集会を開催しました。JAIPEは保健・医療・福祉分野の多職種連携教育および現場における協働の成果を共有し、連携に基づく教育・研究と実践を推進することを目的に2008年に設立された学会です。中部地区での初開催となりました。



学術集会長としてのご挨拶(フジタ500500)



湯澤由紀夫学長の開会の辞

学術集会への参加者は227名(学生16名を含む)、ポスター発表50題と過去の学術集会に比べてかなり多い数となりました(本学からの9演題、アセンブリ教育センターからの6演題含む)。



パネルディスカッション

学術集会のテーマを「多職種連携のプラットフォームの構築に向けて他者のリスペクト(尊重)」としました。交流が深まるように、参加型の企画(パネルディスカッション、シンポジウム、ワールドカフェ)を盛り込んだことが奏功して会場は熱気に溢れました。参加者の皆さんが疑問や問題点・解決策について話し合う「多職種連携のプラットフォーム(交流の場)」となりました。



ワールドカフェ

(注釈:『カフェ』のようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルとメンバーをシャッフルして対話を続けることにより、参加した全員の意見や知識を集めることができる対話手法)

JAIPEの木内祐二理事長(昭和大学)から、理事長賞がアセンブリ教育センターに送られました。アセンブリ教育を運営する教員が力を合わせて学術集会を運営したこと、段階的・系統的な多職種連携教育を構築して、防災の内容も授業に取り入れていることを評価して頂きました。



アセンブリ教育センターの教職員

実行委員長は中村小百合教授(保健衛生学部看護学科)、アセンブリ教育に携わる教職員の皆さんが実行委員・査読委員をしてくださいました。

藤医会から、ご支援、ご寄付を賜りましたことを深謝致します。



# 信長奮闘記

第69回郷土英傑行列名古屋まつり  
第47代信長役の経験

6回生

根木 浩路

## 🌸 応募のきっかけ

小学校3年生に入隊したボーイスカウトが、名古屋まつりの沿道整理などで毎年奉仕活動をしています。一昨年の名古屋市との打ち合わせの会議で、「ボーイスカウトから三英傑役が選ばれても良いのではないかと名古屋地区協議会の会長が発せられたことに始まります。名古屋市の担当者からは反応はありませんでしたが、それならこちらからアクションを起こそうと思い、乗馬ができることと条件のある信長役に応募することにしました。自らへの挑戦でもありましたが、名古屋のスカウトの代表として参加してみたいとの思いもありました。しかし、診療業務に支障があると考え1年目は思いとどまりましたが、2年目になり思い切って応募しました。

## 🌸 信長公の選考

応募用紙には、スカウトの代表であることとコロナ禍で地域医療に従事していました、との2点をまとめてある程度の勝算は感じていました。

25人からの書類選考がパスしたとの通知が届き、次は、5人の応募者が市役所での面接で1分間の自己PR、質問多数を受けました。そして、1週間後に合格通知となりました。初回の応募で合格することは珍しく、妻も喜んでくれて嬉しかったことを覚えています。

## 🌸 当日まで

信長隊の担当・三越から連絡が入り、「行列の最中に2か所で能の舞があり観世流の家元宅に行き敦盛の練習をしていただきたい、とのことで診療の合間を縫って、「人間50年」で始まる敦盛の能の舞をひたすら練習しました。市役所での記者会見は、テレビカメラの前でのインタビューを受け記念撮影がありました。偶然にも相方の濃姫も、スカウトの仲間でありました。そして、歴代の三英傑を経験した英傑会の皆様と熱田神宮参拝、歓迎会があり、先輩から経験談をお聞きしてイメージを作っていました。





## 祭り当日

金山近くの中京倉庫で信長隊は松竹映画からのメイク担当・髪担当が来て信長に変身していきました。初日は名古屋駅からの出発で、出発地点には、通行人や友人たちとの記念写真後に、いざ出陣です。`根木さーん、根木先生、との声援には馬上から両手を広げて`わしゃ信長じゃ!、と対応していました。笹島での最初の能の舞は大勢の聴衆の前で一人で舞う緊張もあり失敗。沿道からはボーイスカウトの仲間が多く声をかけてくれました。二日目は少し要領を得て、いろいろとアドリブを入れたり演出に努めました。市役所前の舞も終え、栄交差点に差し掛かる直前に、前日から少し落ち着かなかった馬がとうとうストレスの頂点に達しました。3mほど私を跳ね上げヘルメットもエアーストもなく逆さになって頭からアスファルトに叩きつけられ意識不明となりました。沿道から家族が駆け寄り3人の身内医師の対応で、救急搬送の間に少しずつ意

識が戻ってきました。現場での処置中は自衛隊の皆さんが人垣を作って聴衆の目から守っていただきました。搬送後、幸いにも頭蓋内は異常なく、多発肋骨骨折・肺挫傷とのことで帰宅しました。家族に助けられて本当に感謝しています。肋骨骨折は当初2本とのことでしたが、CT再検でだんだん増えて最終的には6本7か所あり、受傷後6週間でも鎮痛剤は欠かせませんが、命は助かりました。

## 今後の展望

名古屋まつりのニュースより信長落馬のニュースのほうが連日全国を駆け巡り、全国の友人・知人からたくさんお見舞いの連絡をいただきました。現在、名古屋市と三越担当者と今回の事故の懸案と来年のまつりの対策を検討しています。一生に一度の三英傑の経験でたくさんの人と出会え、貴重な経験をしました。これからの人生をさらに有意義なものにして参ります。

# 藤医会からのご案内

INFORMATION

## 第20回藤医会総会・ 教授就任記念講演会・懇親会のご案内

**日時** 令和6年2月24日(土) 午後4時30分～

**場所** 名古屋観光ホテル 3階 楠の間

**① 総会**：午後4時30分～6時

※今回の総会から、藤医会総会での議案は「代議員」により承認されることとなりますのでご了承下さい。

**② 卒業生教授就任記念講演会**：午後6時～7時

医学部脳神経外科学 教授 **早川 基治** (14回生)

医学部産婦人科学 教授 **西尾 永司** (20回生)

**③ 卒業生教授就任懇親会**：午後7時～8時30分

3階 桂の間 会費：10,000円

ご挨拶予定 日本医師会常任理事 **細川 秀一** (4回生)

懇親会では、2022年6月25日に

日本医師会常任理事にご就任されました **細川 秀一** 先生 (4回生) にもご挨拶を頂く予定でありますので、皆様、奮ってご参加下さい。

## 洞庭 賢一 先生(1回生) 褒章 旭日双光章のご報告

このたび、北陸支部長の洞庭賢一先生(1回生)が、旭日双光章の褒章を受けられました。

藤医会として、誠に嬉しい受賞でありますのでここにご報告させていただきます。

次回、藤医会夏号でご報告頂く予定です。

藤医会  
事務局

**住所** 〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98 藤田医科大学2号館 2階  
一般社団法人 藤医会 (藤田医科大学医学部同窓会)

**電話** ①藤田医科大学2号館 2階 藤医会室 0562-93-4025 (月・水・木 午後2時～4時30分)  
②藤田医科大学2号館 14階 管理室 0562-93-2794 (月～金：午前10時～午後3時30分)

**FAX** 0562-93-4021